

南紀はまゆう支援学校のホームページへようこそ

和歌山県立南紀はまゆう支援学校ホームページをご覧いただきありがとうございます。
ございます。

本校は、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」として知られる熊野三山（熊野本宮大社・熊野速玉大社・熊野那智大社）につづく熊野古道近くに位置しています。（国道311号線「熊野ロマン街道」）

また、本校が所在する西牟婁郡上富田町は、初代上富田町長 山本萬米氏が「白浜町には温泉があるが、上富田町には心の温泉をわかせたい」という信条から町内の教育と福祉に力を注ぎ、他市町に比べて多くの福祉関連施設があります。「みんなで学んで花ひらく 口熊野かみとんだ」をキャッチフレーズに生涯学習が盛んな花いっぱい町として、また「紀州口熊野マラソン」の舞台としても知られています。このように、本校は、歴史にあふれ、自然豊かな環境に恵まれています。

南紀はまゆう支援学校は、令和5年4月1日に開校した、日高郡みなべ町及び田辺・西牟婁地方に住む知的障害、肢体不自由、聴覚障害のある児童生徒のための学校です。今年度は、小学部68名、中学部59名、高等部102名で、合計229名の児童生徒が在籍しています。

学校教育目標として「いきいきと ともに生きる 心ゆたかに たくましく」を掲げ、児童生徒一人ひとりが、自分らしくいきいきと、そして仲間や支援者、地域の人々とともに生きていき、これまで大切にしてきたゆたかな成長、ゆたかな心、そして、身体的なたくましさとともにどんな困難にもしなやかに対応し、折れることなく立ち直る心のたくましさを育むことへの願いを込めています。

これまで培ってきた肢体不自由教育、知的障害教育、聴覚障害教育の専門性を共有し、多様な教育的ニーズを必要とする児童生徒に一層充実した教育を全教職員で行っていきます。

また、西牟婁圏域における特別支援教育のセンター的機能を発揮できるよう取り組みます。

今後とも、保護者のみなさま、関係者、地域のみなさまのご支援、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

和歌山県立南紀はまゆう支援学校
校 長 小 原 美佐香

